

「労働経済論」講義（川村雅則）が贈る、恒例の「団結剣」企画

若者と労働組合

ブラック企業に立ち向かうために

雇用・労働をめぐる問題の深刻さについてはここでは繰り返さない。

そんなときだからこそ、労働組合の必要性を伝えたい。

みんなが期待する「ワークルール（労働法）」も、労働組合があってこそはじめて機能するのが実際のことで、ワークルールが自動的にみんなを救ってくれるわけではない（そのことは断言してもよい）。

例えば先日、アルバイトをめぐる問題を私たちは授業時間に話し合った。

各種の不払い労働（タイムカードを勝手に切られる、打ち合わせ時間は不払い、割増支給されず）、ノルマの設定・商品の買い取り、頻繁な勤務シフトの変更・急な呼び出しなどなど。法律違反を含め、ケッコーなトラブルをみなさんは経験していることが明らかになった。

（絵・野澤香里）

では、それらの問題をどう解決すればよいか、そのみちすじをあなたは具体的にイメージできるだろうか。そう簡単なことではないだろう。

学生アルバイト時代においてもそうであれば、ましてや、社会人として就職した場合に直面するであろう、より一層のさまざまな困難はどう乗り越えればよいだろうか（いやまじめな話、就職先がブラック企業だったらどうする？）。

というわけで、みんなに伝授したいのが「団結剣」という武器だ（「団結権」の誤植ではない、念のため）。「団結剣」提唱者であり、長年数多くの労働相談にのって労働組合づくりを支援してきた鈴木さんを講師に、このことを考えてみよう。働き始める前の、あるいは就活中のあなたに贈る今年最後のプレゼント。

とき 12月13日（金）9：00～10：30

場所 5号館4階40番教室

講師 札幌地域労組 書記長 鈴木一さん／札幌地域労組 <http://www.infosnow.ne.jp/~sgu/>

問い合わせ先 川村雅則研究室 011-841-1161（内2744）